

# 令和6年度 全国・県学力・学習状況調査結果について

令和6年9月 西粟倉村教育委員会

全国は小学校6年生、中学校3年生を対象に、県は小学校3年生～5年生、中学校1, 2年生を対象に4月18日(木)に実施されました。全国調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上」や「教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことを目的としております。小学校は、国語、算数、中学校は、国語、数学をおこないました。県調査は、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語を行いました。

出題内容は、知識・技能だけではなくそれらを実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等が問われています。

## 1 西粟倉村小学校・中学校の調査結果の概要をお知らせします。

西粟倉村は、全国平均を上回っている学年が多く、基礎的・基本的な知識の定着は概ねできていると考えられます。理由を説明することや自分の考えをまとめて表現すること等は、伸びてきています。学び方では、粘り強く取り組めたり友だちと協力したりすることにも成長を感じています。今後は、複数の事象からきまりや法則を見つけることや事象を関連付けて考えること、学び方を工夫したり、次の学びにつなげていったりすることを更に伸ばしていく必要があります。

家庭学習時間については、1時間以上学習する児童・生徒の割合が全国や県と比べてかなり低くなっております。一概に、長い時間することが良いことであるとは思われませんが、内容や質についても一度検討していこうと考えています。西粟倉村では、家庭学習でも「主体的な学び」や「探究的な学び」を大切にしています。自分の興味のある内容や課題について、計画を立てて取り組み、学習を振り返って改善していく力(自己調整力)が育っていくように引き続き取り組みをすすめていきます。

## 2 調査を受けて、小学校・中学校、教育委員会は次のように取り組みの重点化を図ります。

### 【小学校】

- ・ 基礎基本を大切にしながら、概念を説明させる授業をする。
- ・ 自分の考えを持つための時間をしっかり確保する。
- ・ 日常生活と授業をつなげ、主体的に学ぶようにする。
- ・ 自分の考えをもって交流できるように、引き続き「予習的課題」に取り組む。

### 【中学校】

- ・ 生徒同士の学びの時間(ペア、グループでの学習)を多くとる。
- ・ 授業研究を通じて授業力の向上を図る。
- ・ 自分の課題をもとに自主学習に取り組ませる。事前学習を通じて課題意識をもって授業に臨ませる。
- ・ 日常生活でも生徒が主体的に活動できるよう支援を行う。

### 【教育委員会】

- ・ 村教育ネットワークによる授業研究の開催
- ・ 学力担当者会での調査分析と取組交流、進捗確認
- ・ 村独自テストの実施
- ・ 県教委と連携した外部講師の招聘

※ 調査結果はあくまでも、学力の一部であり学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。